

## 臨床研究へのご協力のお願い（吸気筋）

令和6年9月8日

当院では、臨床研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究に関するご質問がありましたら、連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

研究名	高齢心不全患者の吸気最大口腔内圧は労作時呼吸困難感や生命予後を予測する
研究の概要	本邦では、高齢化が急速に進んでいる中、心不全も増加傾向であり、高齢者における心不全の管理が重要な課題となっています。現在、心不全患者の評価において身体機能指標が用いられており、心不全の再入院や生命予後を予測する指標として有用性が示されています。心不全患者は横隔膜の特殊な変性を示すことから、近年では心不全の予後予測因子の新たな指標として、吸気最大口腔内圧：maximal inspiratory pressure(PImax)が注目されています。心不全患者の日常生活における呼吸困難感と関連していることや、最大酸素摂取量(peakVO <sub>2</sub> )と有意に相関することから、peakVO <sub>2</sub> に匹敵する独立した生命予後予測因子であることが明らかになっています。しかしながら、高齢心不全患者のPImaxの経過や呼吸困難感との関連、短期的な予後予測としての有用性は明らかにされていないのが現状です。調査項目における基本情報は診療録より聴取し、退院時に身体機能の評価を行います。
研究の対象	当院に心不全の診断で入院後、退院時に身体機能が評価可能な方
研究期間	研究許可日～2028年3月頃
研究責任者	心臓リハビリテーション室 吉井 隼
連絡先	心臓リハビリテーション室(直通) 0465-48-1713